

飯田 亮 創業者・顧問 追悼



飯田 亮
(享年89)

セコムでの職歴

1962年7月 代表取締役社長就任
1976年2月 代表取締役会長就任
1997年6月 取締役最高顧問就任
2022年6月 創業者・顧問就任

栄誉

2023年1月 従四位・旭日重光章

当社創業者・顧問である飯田亮が、2023年1月7日に逝去しました。

飯田は、1962年7月、大学時代からの友人である戸田壽一(故人)とともに、日本で初めての警備保障会社である日本警備保障(株)(現、セコム(株))を設立しました。

「水と空気と安全はタダ」と言われていた当時、警備という新しいビジネスの立ち上げには相当な苦勞が伴いましたが、1964年開催の東京オリンピックの選手村警備を担当したことが、今日に至る成長の契機となりました。また、1966年に日本初のオンラインによる安全システムを開発・発売するなど、日本の社会にセキュリティサービスを行き渡らせる礎を築きました。

1980年に発足した社団法人全国警備業協会(現、一般社団法人全国警備業協会)では、2002年まで初代会長を務め、現在、警備業者数1万社超、警備員数約60万人、売上高約3兆5千億円の規模となった警備業の発展にも尽力しました。

当社創業以来、飯田が私たちに語ってきた数々の言葉は、組織や社員一人ひとりに受け継がれ、「安全・安心」を社会に提供するために日々実践されるとともに、事業運営の羅針盤となっています。「あらゆる不安のない社会」を実現したい、という飯田の想いを引き継ぎ、さらなる事業の発展、社会への貢献に邁進する所存です。

生前に賜りました数々のご厚情、ご厚誼に、心より御礼申し上げます。



1964年、東京オリンピック選手村の警備



1967年頃、セコム共同創業者の戸田壽一(左)と



1975年、コンピュータを使ったオンライン・セキュリティシステムの開通記念式典(中央)



1999年、全国警備業協会の会合にて